

次の条約の締結年代を記入しよう
 三国同盟 (1882) 露仏同盟 (1891) 英仏協商 (1904)
 英露協商 (1907) 日英同盟 (1902) 日露協約 (1907)

教p320 英独の対立

独 (ヴィルヘルム2世) の新航路政策 ← ビスマルク外交の破棄
 ・「独の将来は (海上) にあり」... 海軍増強、建艦競争
 ・(バグダード) 鉄道の敷設権をトルコより獲得
 ↓
 (3B政策) ... (バルビク・ビザンテウム(イスタンブール)・バグダード)
 ・奥との接近... (バルカン) におけるパンゲルマン主義推進
 ・伊との亀裂... (未回収のイタリア) 問題をめぐる奥・伊対立 → 伊は (仏) に接近
 英 (Splendid Isolation) の放棄
 ・(3C政策) 推進 → 3B政策と対立
 ・仏・露・伊・日との接近... 特に露とはイラン・アフガニスタン問題で和解
 (英露協商) (1907) 回p243. 地図
 1902 = 仏伊協約
 1904 = 英露協商
 1907 = 英露協商
 → 三国協商を中心とする独・奥包囲網の完成

モロッコ事件

モロッコをめぐる仏・独間で発生した国際紛争
 ① (タンジール) 事件 (1905)
 ・仏のモロッコ進出に対し独ヴィルヘルム2世がタンジールを訪れ、列国会議開催を要求
 ・(アルハシラス) 国際会議 (1906) ... 英の支援で仏の優越権が認められる
 ② (アガディール) 事件 (1911)
 ・仏の支配に対し、内乱が発生 → 鎮圧のため、仏が出兵
 ・これに対し独がアガディールに海軍派遣 → 英が非難、介入
 ・独は仏領 (コンゴ) の一部を獲得して撤退を約束
 ・仏による保護国化が確定 (1912)

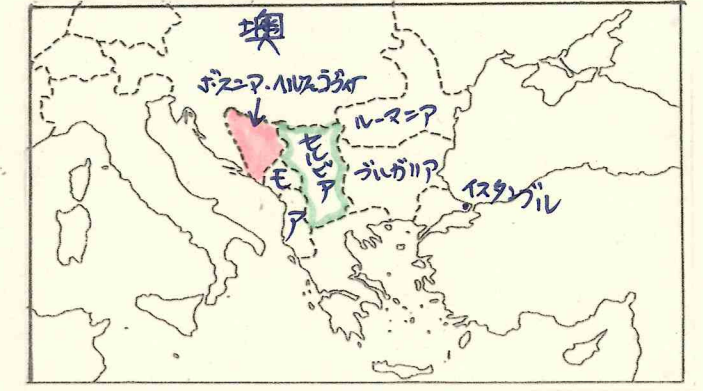
回p260 バルカン情勢 (ヨーロッパの火薬庫) 火の粉がこぼれる
 オスマン=トルコ帝国の弱体化... 「瀕死の病人」

・(青年トルコ) 革命 (1908) ... エンヴェイル=パシヤが (サラエボ) で蜂起
 1878のベルリン会議で保護国 → (ブルガリア) 独立 → 翌年、承認
 奥が (ボスニア・ヘルツェゴヴィナ) 併合 → (セルビア) が反発
 ・(伊土) 戦争 (1911~12) → 第二次モロッコ事件の混乱
 伊が (トリポリ・キレナイカ) 獲得

回p260 (バルカン戦争) 露の指導のもとに

① (1912~13) 露の指導のもとに (バルカン同盟) 結成
 参加: (セルビア・ブルガリア・モンテネグロ・ギリシア)

トルコ v s (バルカン同盟)
 (ロバンネン条約) ... 土はバルカン半島の領土をほぼ失う (アルバニア) 独立
 ② (1913) ①で獲得した領土の分割めぐり、(ブルガリア) が不満
 ブルガリア v s (セルビア・モンテネグロ・ギリシア・オスマン帝国・ルーマニア)
 独・奥支援 露支援
 (バカロフ条約) ... ブルガリアの領土縮小 → 独・奥に接近



戦争防止の努力 回p244

・スポーツによる友好と平和... 仏 (フーバウタリ)
 近代 (オリンピック) 提唱... 第1回が (アテネ) (1896) で開催
 ・(ノーベル賞) の設定... ノーベルはダイナマイトの発明で巨富
 第1回は (ロビンソン・ステュアート) が受賞 (1901) → 国際赤十字設立
 ノーベル物理学賞 ノーベル平和賞
 ・万国平和会議開催 → 第1回はオランダの (ハーグ) 回p316 戦争と平和
 ・(第2回万国平和会議) による戦争反対決議... 仏 (ロマン・ロラン) 露 (ドストエフスキ)
 ↓
 しかし戦争直前になると、自国の利害を重視し、防衛戦争として認めることとなった